

広報こばやし みんなでなむ 笑顔あふれる じょじょんよかここ 小林市 2022.DEC

KOBAYASHI 12

No.201



小林高校

駅伝部・女子駅伝部
男女バスケットボール部

全国大会出場!

全国高校駅伝
ウインターカップ

12月25日
12月23～29日





小林市魅力発信プロジェクト「ハッシンコバヤシ!!」

市では、多くの人と一緒に地域の魅力発信の力を高めていく「ハッシンコバヤシ!!」プロジェクトを進めています。このコーナーでは、市役所からの情報だけでなく、高校生記者、市民の投稿などを通して、小林のヒト・モノ・コトの魅力をお届けします。

市政の動きトピックス

東京のIT企業と連携協定を締結

IT技術で行政事務を効率化 市民サービスの向上につなげる

行政事務の効率化などによる市民サービスの向上を目指し、ソフトウェア開発などを手がける株式会社サザンクロスシステムズ（永田英一郎代表取締役社長）と連携協定を締結しました。行政の小さな困りごとを聞き取り、パソコンに標準的に搭載されているソフトウェアの活用で事務効率化を目指す取り組み。今後は各課題の改善に向けた研究を進め、研究成果の発表も予定しています。



株式会社サザンクロスシステムズと小林市との連携協定締結式

明治安田生命保険相互会社が寄付

寄付を原資に先進的モデル事業 文化系部活動に指導者を配置



全国的にもめずらしい、市内中学校で地域部活動を推進するモデル事業に取り組んでいます。地域の専門的な指導者を配置、部活動の充実と教員の働き方改革を目的とした事業で、昨年度から運動部で施行されているものが文化部でも試行開始されます。事業の原資は明治安田生命保険相互会社宮崎支社からの寄付金で、本事業のほか、介護やコロナ対策の事業にも充てられます。



学校の弓道場にて。切磋琢磨する仲間とともに、更なる飛躍を目指して稽古に励んでいます

YOU CAN MAKE IT !!

KOBAYASHI YOUNG

ハッシンコバヤシ!! 高校生記者クラブ

小林の
わけもん
Vol.48

小林にゆかりのある「がんばる若者」を紹介します!

県新人戦・九州大会で好成績

小林西校 弓道部

かわこ たけし
川子 剛司 さん (16歳)

県新人戦3位、九州大会13位獲得 次大会は全射的中で優勝目指す

小林西高1年生で、弓道部の川子剛司さんは、宮崎県新人戦大会で190人が参加した個人戦で3位を獲得。10月に佐賀県で行われた九州高等学校弓道新人選手権大会個人戦でも、13位の好成績を収めました。28歳離れた的に矢を放ち、的中数を競う弓道。「1回の試合で放つ4本の矢のうち、最後の1本は必ず当てる」と語ります。

指導者の宮房孝之先生は、「とにかく弓道が大好きで、人一倍努力し、キャプテンとしてチームを引っ張り雰囲気も高めてくれる」と評価しています。「11月の選手権大会では『全射的中』を目標に、自信と集中力を持って挑み、優勝を目指す」と、現在も次の大会に向け稽古中。「自分と的に集中」をモットーに、技と精神力に磨きをかけています。



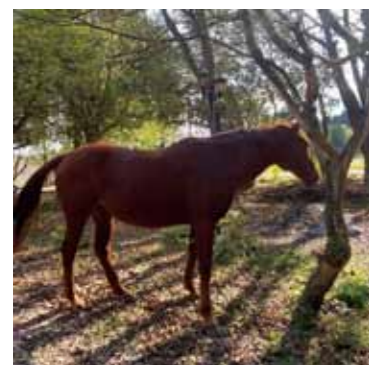
一緒に小林のよかところをハッシンしよう!
投稿写真から数点を広報紙で紹介します

Instagram & 広報こばやし
#ハッシンコバヤシ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿しませんか。その中から数点を選び、「広報こばやし」に掲載します。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。みなさんが写真で切り取るっておきの小林をお待ちしています。投稿方法など詳しくは、市ホームページ(右QRコード)をご確認ください。



@ tomoko_yo119 さん



#馬のいるカフェ #鷹山窯

@ sono.tekupota さん



#須木 #紅葉 #朝の風景

@ k.eizo_ さん



#野良猫 #何気ない風景

ハッシンコバヤシ info

日本一の次なるステージに向けて

チーム小林で挑む全共の軌跡 PR動画「和牛の聖地小林市」

全国の和牛が一堂に会す全国和牛能力共進会。今年10月に開催された鹿児島大会では、小林市の有限会社馬場牧場(馬場幸成さん)の牛を含む宮崎牛が4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞しました。「和牛王国」宮崎県代表として鹿児島全共に出品した小林の畜産農家や、それを支える周囲の人々がどういった想いで大会に挑んだかをまとめた動画が完成しました。



動画では、鹿児島全共出場者や出場を支えた関係体のインタビューなどがまとめられています。今大会の特徴である若い世代の活躍(小林秀峰高校や森田悠斗さん)や「チーム小林」の強みである結束力など、見どころたくさん(約10分)です。(動画はこちら→)





COFFEE GIRAFFE

みやわき ひるゆき
宮脇博之さん (45歳)

今年9月に赤松通り(本町)にオープンした、キリン(GIRAFFE)のロゴが印象的なカフェ「COFFEE GIRAFFE」。今年2月に小林市にUターンし、「人に優しく、環境にも優しい」をコンセプトに同店を経営する宮脇博之さんに話を聞いた。



小林市本町 24
 営 12時～19時
 休 月曜日定休
 P 2台(赤松通り専用駐車場)
 coffee_giraffe

新しいつながりが生まれる場所へ

「地域の色々な方が世代を問わず立ち寄れるコミュニティスペースにしたい。」
 そう話すのは、赤松通り(本町)にあるカフェ「COFFEE GIRAFFE」を経営する宮脇博之さん。
 進学を機に小林市を離れて上京、長年カフェの経営や立ち上げなどに携わってきた。その経験を地域に還元し、地域活性化につながる場所を作ろうと、今年9月にお店をオープンした。
 「東京暮らしも長くなり、うっすらと小林に戻ろうかなと思っていて」と話す宮脇さんにとって、転職となったのがコロナ禍。神奈川県鎌倉市で店舗の立ち上げに携わり、約1カ月海外を眼前に見ながら働いたことで、コロナ禍の窮屈な生活で感じたストレスが洗い流される思いがしたという。
 「自然のあるところに戻りたい」という気持ちが強く

「人によって、環境にも優しいお店でありたい」と話す宮脇さん。コーヒー豆はフェアトレード(※)のものを使用。店内で扱う商品も、環境に配慮したものを取りそろえている。
 「皆さんに環境に配慮した商品を知っていただき、選ぶきっかけ作りができればと思っています。」
 今後は店内のスペースを使い、地元作家の作品を展示したり、ワークショップを開催したいと宮脇さん。
 「色々な方が立ち寄って、またそこで新しいつながりが生まれていく。そんな場所になっていったらうれしい」と今後の展望を話す。

※経済的社会的に弱い立場にある途上国の生産者と、経済的社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行う貿易のこと

コーヒーは、タンザニア産とルワンダ産のブレンド豆を使用。以前から取引のある業者から仕入れており、自分自身の意識も高まったと宮脇さん。店内でも酸味と苦みがバランスよく仕上がったと話す

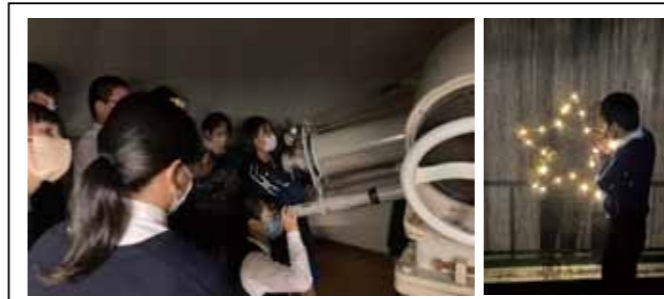


小林人
 こばやしびと
 Vol.110

我が高校の魅力 全力ハッシュ!

高校生記者クラブ 各校ならではの魅力を紹介します!

Vol.4 小林高校「県内高校唯一の天文台」編



「探究活動」や「星を見る会」などの活動にも使用されています。

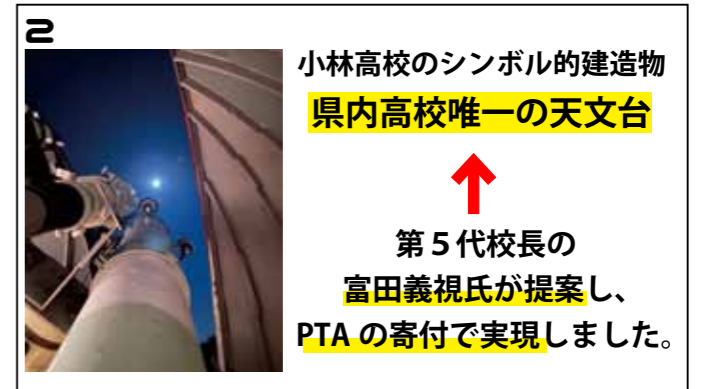


1 小林高校には全国でも珍しく、天文台があります。



天文台で綺麗な星を観察できます。
 11月8日は皆既月食を観察しました

一言メモ：星を見る会では、天体望遠鏡で月食を観察しました。貴重な体験で新鮮でした!



小林高校のシンボリック建造物
 県内高校唯一の天文台

第5代校長の
 富田義視氏が提案し、
 PTAの寄付で実現しました。

高校生記者クラブ 市内企業と働く人を紹介します!

小林の Yell 仕事と人

「入社したきっかけは?」
 地元就職を希望していた、職場見学の際に周囲の方が優しく接してくださったのが決め手です。
 「担当しているお仕事は?」
 東方工場の受付係として、お客様の対応、売上と請求を担当しています。
 「高校で学んだ知識や経験が活かされたことは?」
 パソコンや電卓の資格取得をしていたことが仕事に活かしています。
 「仕事で苦労したことは?」
 廃棄物の種類や料金の判断が経験を積まないと難しく、苦労しました。



黒木さんが務める企業

九州北清株式会社

創業 平成6年 従業員約80人 募集職種
 収集運搬スタッフ、プラント運転員など

「会社の自慢は何ですか?」
 みんな仲が良く、協力し合っているの、チームワークが会社の自慢です。
 「目標にしていることは?」
 後輩の教育や他部署の業務を覚えて、周りから頼りにされる存在になりたいと思います。

取材後記：高校の先輩にあたる黒木さんの話を聞き、私たちが将来のことをしっかりと考えていかなければ…と感じました。(小林秀峰チーム)

周囲から頼りにされる存在になりたい。

九州北清株式会社
 東方工場 受付係
 くるき ゆうり
 黒木 祐里さん (26歳)

東方出身。小林秀峰高校経営情報科を卒業し当企業に就職。入社して8年。東方工場の業務部で受付係を担当。趣味は旅行。

ESDに取組む

野尻の冬の風物詩 今年も20年目の記念の年

野

尻のまちを温かく照らす「野尻町イルミネーション」が、今年で20年目を迎えます。国道268号沿いの住宅・店舗や野尻庁舎、大塚原公園が約75万球で彩られるこの冬の風物詩は、イルミネーションで地域を活性化したいと平成15年に追分地区住民25軒からスタートしました（追分地区イルミネーション町興協議会）。平成18年に「野尻中央イルミネーションまちおこし協議会」、平成20年には野

尻庁舎を装飾する「NGI Yeah Do」、翌21年には大塚原公園を装飾する「大塚原イルミネーション」が発足。現在は、4団体などで構成する「野尻町イルミネーション協議会」がイルミネーションを実施しています。

最

も多いときには約100軒が参加し、スタンプリリーや振り舞いも実施。平成24年には野尻庁舎に設置した巨大クリスマスリースが「日本一大きい3Dイルミネーション」に認定されるなど、県内外の注目を集めてきた野尻町イルミネーション。協議会として一斉に装飾するのは最後となる今年度は、来年1月7日まで点灯予定。地域住民の20年分の想いを乗せて、国道268号沿い約2キロ、大塚原公園、野尻庁舎をイルミネーションが鮮やかに照らします。



20年の感謝を込めた「ありがとう」のメッセージボードを設置（野尻庁舎）



この日は吉井さんの自宅を装飾。協力しながらテキパキと設置していく。高い場所の装飾は、電飾を引っ掛ける棒を自作して設置している。



野尻町追分地区に住む富岡昇さんと、富岡さんの近所に住む吉井カツ子さん、青木伸一さん。平成17年ごろからイルミネーションを飾っているという3人に、これまでを振り返っていただきました。

どんな苦労がありましたか

富岡さん 最初はガラス管の電飾だったので、電力消費が大きくてブレーカーが何度も落ちていました。

青木さん 夕方になったら、家族にあちこちの電気を消しておくように言っていました。

富岡さん お風呂のときも電気を消して入ったり。

吉井さん 最初は点灯がバラバラで、5分くらい差があったよね。

富岡さん 初めは点灯のタイマーがアナログだったので、5分くらい早く点いたり、15分くらい経って点いたりしていました（笑）

やっていくうちに、

青木さん いつも家族連れでたくさんの方が来てくれて、夕方になるとともにぎやかです。

富岡さん 近所の子どもた



ちが来て、子どもたちとの会話につながるのもうれしいですね。

長年続いてきた理由は

富岡さん まわりの住民の装飾を見て、綺麗だなと感じるからでしょうか。

吉井さん まわりの人の綺麗な装飾を見ると、飾るのが大変だったけど、もうちょっと飾ればよかったと思ったりします。

青木さん 他の人の装飾を見て回って、いつもあれを飾ればよかった、これも飾ればよかったと思います。

富岡さん そうやって、みんなでもっといいものを作ろうとしてきたのがよかったのかもしれない。

吉井さん 都会だったらなかなかできないですよ。ね。隣近所が仲良くしている田舎だからこそ、できたことなんだと思います。

今年のイルミネーションも楽しんでほしい

野尻町イルミネーションは、地域の活性化につなげようと平成15年に追分地区から取り組みがはじまりました。その後、追分地区だけでなく商店街の方でもやろうということになり、平成18年から私も毎年設置してきました。



野尻町イルミネーション協議会 副会長 川野博海さん

いろいろな苦労もありましたが、団体で観光バスを使ってイルミネーションを見に来てくださったこともあるなど、野尻が有名になり、多くの方が訪れてくれるようになったことをうれしく思います。

地域住民の高齢化が進み作業が難しくなるなどしたことで野尻町イルミネーション協議会として一斉に装飾するのは今年で最後になりますが、今年もぜひ皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

イルミネーション 今年の点灯予定

■野尻地区
11月27日（日曜）～
令和5年1月7日（土曜）
17時30分～23時

国道268号沿い約2キロ区間、野尻庁舎、大塚原公園（道の駅ゆへるのじり）

■小林地区
11月27日（日曜）～
令和5年1月6日（金曜）
17時30分～21時
JR小林駅周辺



【大塚原公園】

①② 10月下旬から約1カ月をかけて少しずつ準備を進めていく。③ 電飾が埋め込まれたボード。一つひとつ手作業で埋め込み、電飾が抜けないようにゴムチューブで穴をふさぐ。

【野尻庁舎】

④ 安全帯を着けて壁面に電飾を設置。毎週末などに有志が参加し、約1週間をかけて準備した。⑤ 子どもたちも設置をお手伝い。

地域住民の特技を披露！坂元文化展

11月5～6日に坂元親子会館で坂元文化展が開催されました。文化展には地域住民の書道や絵画、写真、木製の小物など約50点の作品を展示。坂元区の中島信行区長は「近所の人の特技などを知ることがコミュニケーションの一助になれば」と話しました。



技能実習生対象の自転車安全教室開催

10月29日、九州ゲンゼ株式会社宮崎工場（細野）で、外国人技能実習生を対象とした自転車安全教室が行われました。小林警察署とあいおいニッセイ同和損保の協力で開催されたもので、参加者は自転車の安全な乗り方や交通ルールなどについて学びました。



鎮魂と地域の安全を祈る伝統行事

10月30日、伊集院源次郎公例祭が開催されました。大正2年に発生した東麓の大火を契機に、悲劇の武将、伊集院源次郎の鎮魂と地域の安全を祈願する行事として100年以上続いています。神事後、地域住民による曳い踊り、四半的納射が行われました。



東京で「すきブランド」をPR

10月21～27日、東京にある宮崎県のアンテナショップ、新宿みやざき館 KONNE で、すき物産協会が物産販売を行いました。須木で製造した栗や柚子の加工品、今秋収穫の須木米を販売しました。同商品は今冬のギフトセットでも販売を予定しています。



介護の日に地域包括ケア推進サポーターフォローアップ講座を開催

11月11日の介護の日、市内で地域包括ケア推進サポーターのフォローアップ講座が開催されました。講師には株式会社ルネサンスの古下達憲さんを招き、地域包括ケア推進サポーターとして①運動の基礎知識／②「安全・楽しい・効果的」な活動ができるスキル／③こばやしパワーアップ体操などを身につけることを目的に開催されました。



受講したサポーターの栗屋鈴子さんは「この筋肉に効果がある運動なのか意識しながら体操を行うことの大切さが理解できました」と話しました

芸術の祭典で文化の秋を堪能 小林市総合文化祭を開催

10月29～30日、11月6日、13日に市総合文化祭が文化会館、中央公民館、市民体育館、野尻町農村環境改善センターで開催されました。絵画や書道などが並ぶ作品展や、芸能祭、音楽祭などが行われ、参加者は日ごろの活動の成果を披露。期間中は5千人以上が会場を訪れ、作品や音楽、芸能などをとおして文化の秋を堪能しました。



1 市民体育館で作品を鑑賞する来場者、2 3年ぶりの開催となったお茶会、3 音楽祭ではハーモニカの演奏や民謡、コーラスなどが披露されました



五穀豊穣に感謝、すきほぜまつりが開催

11月3日、本庄川河川敷広場で五穀豊穣を祝うすきほぜまつりが開催されました。小学生が参加するまつり恒例のほぜっこ相撲では、小さな力士たちが手に汗握る熱戦を展開。当日は3年ぶりの実施となった赤ちゃん土俵入りや左

近太郎競技などが行われました。まつり会場では、須木米や須木地区内で栽培された甘藷を使った芋焼酎などの特産品のほか、飲食物の販売も行われ、晴天の中、会場は約1千人の来場者でにぎわいました。



Photo 1 ほぜっこ相撲 2 3年ぶりに実施された赤ちゃん土俵入り 3 紅白餅のせんぐまきに盛り上がる会場 4 左近太郎競技 5 まつり参加者対象の抽選会の様子

台湾の中学生とリモートで国際交流

三松中と南小の児童・生徒が台湾の三星中学校の生徒とリモートで交流しました。国際感覚と視野を広げることなどを目的としたもので、10月28日に行われた三松中の授業では、英語を使い交代で学校紹介を行ったあと、お互いの国の文化などについて質問し合いました。



臓器移植普及を目指しピンバッジ贈呈

10月25日、県腎臓病協議会小林ブロック（東田義夫ブロック長）が臓器移植の普及を目的に、市にグリーンリボンピンバッジを贈呈しました。東田ブロック長は「県内は臓器移植の件数が少ない。多くの人に臓器移植の意思表示をして欲しい」と話しました。



幸ヶ丘小に児童図書セットを寄贈

10月25日、幸ヶ丘小で（公財）みずほ教育福祉財団による児童図書の寄贈式がありました。寄贈されたのは、生き物の図鑑や点字を学べる本など。同財団は、平成15年度から全国の山間地などの小中学校に図書や運動具を寄贈する活動を行っています。



野尻中濱崎さん全国大会に県代表で出場

10月25日、濱崎智也さん（野尻中3年）が10月29～31日に行われる第20回全国中学生都道府県対抗野球大会に宮崎県代表として出場することを市長に報告しました。濱崎さんはキャッチャーとして、送球の速さなどを買われ県代表14人の中に入りました。



新型コロナワクチン接種のお知らせ

●問＝新型コロナウイルスワクチン接種推進室 Tel 24 - 5007

新型コロナウイルスの従来株とオミクロン株に対応した「オミクロン株対応ワクチン（2価ワクチン）」の接種を行っています。また、生後6カ月以上4歳以下の乳幼児、5歳以上11歳以下の小児の新型コロナワクチン接種も行っています。

新型コロナワクチン接種事業は、令和5年3月31日までとなっています。今後の感染流行も心配されますので、ワクチンの効果と副反応などを踏まえたうえで、早めの接種をご検討ください。

1・2回目接種について

1・2回目接種に使用する従来型ワクチンは年内で国からの供給が終了する予定

1・2回目接種に使用している従来型ワクチンは、年内で国からの供給が終了する予定です。接種を希望している人でまだ接種が済んでいない人は、年内の接種をお願いします。

1・2回目接種を希望する人は必ず**年内に**接種を完了してください

なお、オミクロン株対応ワクチンは、1・2回目接種が完了した人のみ接種を受けることができます。

オミクロン株対応ワクチン接種について

接種の対象者

2回目接種が完了し、新型コロナワクチンを最後に接種してから3カ月経過した12歳以上の人

※3回目・4回目の接種が完了した人も、最後の接種から3カ月が経過した時点で接種できます

接種券の発送

- 最後に接種した日から3カ月経過を目途に発送します。
- 3回目・4回目接種用の未使用の接種券がある場合は、その接種券をそのまま使用ください。
- 転入した人については、接種履歴が確認できないため、接種券が届きません。接種券発行については、市ホームページを確認するか、ワクチン接種推進室に問い合わせください。
- オミクロン株対応ワクチンの接種は**1回のみ**です。2回目の接種はありませんのでご注意ください。

生後6カ月～4歳（乳幼児）の接種について

接種の対象者

生後6カ月以上4歳以下の乳幼児
（6カ月になる誕生日の前日から5歳になる誕生日の2日前）

接種券の送付

接種券の発行申請が必要です

※詳細は市ホームページを確認するか、ワクチン接種推進室に問い合わせください



▲市ホームページ（乳幼児接種詳細）

接種の期間

全部で3回接種を行います。1回目接種後に**3週間以上**の間隔を空けて2回目接種を行い、その後**8週間以上**の間隔を空けて3回目接種を行います。

乳幼児接種を希望する人は**1回目接種を**

令和5年1月13日までに完了

接種予約

接種券同封のチラシを確認のうえ予約ください。



▲予約方法詳細(市ホームページ)

市予約コールセンター
☎0120-30-0759

市政発展への顕著な功績をたたえ、故種子田與市さんに功労市民追贈 川畑敏郎さん、橋満進さん、東原祝男さん、堀之内修さんに市民表彰

11月3日、令和4年小林市市民表彰式典が文化会館で行われました。式典では、本市の果樹振興や地域福祉充実に尽力した故種子田與市さんに功労市民を追贈しました。また、産業経済部門で獣医師として畜産振興に尽力した川畑敏郎さん、公共福祉部門で区長や民生・児童委員として地域

住民の生活を支えた橋満進さんと東原祝男さん、教育・芸術・体育・文化部門で教育長などを務め教育・芸術の振興に尽力した堀之内修さんを表彰。受彰者を代表して、堀之内さんが「本日の表彰を契機により一層心を引き締め、豊かな郷土小林のため努力していきたい」とあいさつしました。



功労市民

故 種子田 與市 さん

多年にわたり本市の果樹振興に取り組み、昭和45年に観光農園を開園。安定した果樹農家の経営確立と観光農園設立による地域農業の発展及び担い手の育成に貢献した。また、民生委員児童委員として42年間、地域住民の生活を支え、小林市社会福祉協議会会長を17年間務めるなど要職を歴任し、地域福祉の充実に大きく寄与した。



産業経済部門

川畑 敏郎 さん

宮崎県獣医師会西諸支部役員として、32年間の長きにわたり畜産振興に尽力。平成9年から同23年同会西諸支部長、同21年から同23年同会副会長の要職を務めた。平成12年と同22年に発生した口蹄疫では、獣医師として最前線で自衛防疫対策に参加し、蔓延防止に尽力。畜産行政に携わる関係機関との連携を深めるなど、本市畜産業の発展に貢献した。



公共福祉部門

橋満 進 さん

多年にわたり、民生委員児童委員として、地域住民の生活を支えた。この間、小林市民生委員児童委員協議会福祉部会部会長を12年間務め、円滑な運営に寄与。長年の活動で培った知識と経験は、他の委員の模範となった。また、東方一区長を10年間務めたほか、現在も小林市遺族共助会の会長を務めており、本市の地域福祉の推進に貢献している。



公共福祉部門

東原 祝男 さん

多年にわたり、民生委員児童委員として、地域住民の生活を支えた。この間、小林市民生委員児童委員協議会副会長として会長を補佐し、円滑な運営に貢献。長年の活動で培った知識と経験は、他の委員の模範となった。また、下九々瀬区長を8年間務めたほか、現在も下九々瀬区友愛クラブの会長を務めており、本市の地域福祉の推進に貢献している。



教育・芸術・体育・文化部門

堀之内 修 さん

教育者として小林商業高等学校校長等を歴任するなど、多年にわたり教育現場で活躍。退職後は、昭和63年から小林市教育委員会委員、平成3年から同4年まで同委員長の要職を務め、この間、小林市文化会館の建設を推進し、本市文化芸術の環境整備に尽力した。また、小林史談会の顧問等を長きにわたり務めるなど、多年にわたり本市教育の振興に尽力した。





Photo Report October 23th.2022

秋空に輝く笑顔

第51回健幸こばやし大運動会～スポレク2022～

コロナ禍などによる中止を挟み、5年ぶりに開催されたスポーツのまち小林の一大イベント「健幸こばやし大運動会」。秋空広がる小林総合運動公園陸上競技場に、参加者の笑顔が弾けました。写真で運動会の名場面を振り返ります。

【特別協賛】

小林ライオンズクラブ(創立60周年記念)、小林市スポーツ協会(名称変更記念)



秋空の下5年ぶりの大運動会
校区対抗から自由参加型へ

10月23日、澄み渡るような青空の下、「第51回健幸こばやし大運動会(スポレク2022)」が開催されました。

今回から、これまでの校区対抗型から、より多くの人が参加できるように、地域や職場、学校や団体などで参加できる自由参加型にリニューアルしました。当日は、52チーム約1400人が参加。ラケットにピンポン玉を乗せて走るリレーやじゃんけんや距離の変わる大玉転がしなど、大人から子どもまで楽しめるレクリエーション6種目で行われ、会場は笑顔で溢れました。

また、恒例の市内小学校・中学校による対抗リレーも開催。トラックを駆ける児童・生徒に、大きな声援が起こりました。その他、〇×クイズや抽選会、スポーツ少年団対抗リレーなども行われました。

会場の外では、ウオーキング大会やトランポリン・ウエイトリフティング体験会が開催されたほか、運動能力や性別などにとらわれず楽しめる「超人スポーツ」の体験会や健康測定ブースなども設置され、参加者ににぎわいました。

- ①サイコロ運試しリレーで盛り上がる参加者
- ②ラケットボールリレーが一齐にスタート
- ③トラックバスケットで、ゴールを目前に笑顔の参加者
- ④ディスタンス玉入れ
- ⑤熱戦が繰り広げられたスポーツ少年団対抗リレー
- ⑥市と連携協定を結ぶ東大先端研などと実施した、ドリフト走行ができる電動アシスト付き車いすの体験会(超人スポーツ)
- ⑦⑧トランポリン・ウエイトリフティング体験会
- ⑨お馴染みの競技左近太郎。ナイスキャッチ!
- ⑩小・中学校対抗リレーを見守る参加者
- ⑪⑫⑬⑭⑮ 競技を楽しむ参加者

結果や出場チームは12月号にあわせて配布するチラシに掲載しています

5	4	3	1
9	7		2
10	8	11	
15	14	13	12



募集

「わけもんの主張西諸大会」発表者募集！

◆**応募資格**
令和5年1月に開催される「わけもんの主張西諸大会」で意見発表してみませんか。

◆**発表内容**
有権者として、または未来の有権者として、政治や選挙について感じていることや願うことなど、自由に発表してください。(5分程度)

◆**応募締切** 12月23日(金曜)
◆**申・問**
・選挙管理委員会事務局
TEL 23・1143

令和5年度学校給食用食料納入者の募集

◆**応募資格**
小林学校給食センターと小林東方学校給食センターの給食用食料納入業者を募集します。

◆**応募資格**
原則市内に本店・支社又は

第46回新春山麓路ロードレース大会

◆**日時** 令和5年1月3日(火曜) ※小雨決行
8時50分開会(受付8時~8時50分)
◆**会場** 西小林入佐運動公園 ◆**コース** 入佐運動公園~榎ノ木折返し
◆**スタート予定時間**(※スタート時間は当日確認ください)
▼小学生男子1・2年/小学生女子1・2・3年(1*_a) 9時20分~
▼小学生男子3・4年/5・6年(2*_a) 9時30分~
▼小学生女子4・5・6年(2*_a) 9時40分~
▼中学生女子(2*_a) 9時50分~
▼中学生男子1年(3*_a) 10時~
▼中学生男子2・3年(3*_a) 10時15分~
▼一般男子(中高生含む)(5*_a) 10時30分~
◆**参加料** 小・中学生700円/一般・高校生1千円
◆**申込期限** 12月28日(水曜) ※当日申込み可
◆**その他** 国のまん延防止等重点措置、緊急事態宣言、県の感染拡大警報、緊急事態宣言が発令された場合は中止となります。事務局から個々への連絡は行いませんのでご注意ください。
●**申・問**=牟田昭三 TEL 27-1796、藤崎哲也 TEL 27-0759



申込用紙ダウンロード

年末年始のごみ収集と清掃工場・最終処分場への自己搬入

分別表・ごみ分別「虎の巻」に基づいて分別し、地区ごとに決められた収集曜日・集積所、または清掃工場・最終処分場に搬入してください。なお、集積所へは前日、時間外の持ち込みはしないようお願いします。

月	日	曜	ごみ収集	清掃工場 最終処分場
12	28	水	通常どおり	通常どおり
	29	木	生ごみのみ	通常どおり
	30	金	生ごみのみ	通常どおり
	31	土	-	-
	1	日	-	-
	2	月	-	-
	3	火	-	-
1	4	水	通常どおり	通常どおり

※12月25日(日曜)須木地区、
12月28日(水曜)北堤区のリサイクルは実施
●**問**=生活環境課 TEL 23-8122
清掃工場 TEL 24-0959

リチウムイオン電池(充電式電池)は正しく分別し、処分しましょう!

リチウムイオン電池を使用した充電式の機器は、過度な力が加わると激しく発熱・発火する危険があり、全国で家庭ごみ収集運搬・処理の過程で、リチウムイオン電池などが原因と思われる出火の事案が多発しています。小林市でも、燃やさないごみなどに誤って混入しているケースが多く、車両や最終処分場での火災が発生するリスクが高まっています。ごみ処理中の発火トラブルを防ぐため正しく分別、処分しましょう。



リチウムイオン電池が本体と一体化した製品は【リサイクル品の乾電池類】で処分してください。
製品から取り出すことができる電池は分別し【リサイクル品の乾電池類】で処分してください。

●**問**=生活環境課 TEL 23-8122 清掃工場 TEL 24-0959

新春賀詞交歓会

◆**日時** 令和5年1月4日(水曜)
11時開会(受付:10時~)
◆**場所** ガーデンベルズ小林
◆**参加申込**
出会を希望する方は、会費をそろえて下記のいずれかで申し込みください。どなたでも参加できます。
・JAこばやし管理課
TEL 23-1313
・小林商工会議所 TEL 23-4121
・小林市役所企画政策課秘書室
TEL 23-3470
◆**申込期限** 12月16日(金曜)
◆**会費** 2千円
◆**その他**
新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止の場合があります。
●**問**=JAこばやし管理課
TEL 23-1313

支店・営業所を有する事業者。
◆**申込方法**
窓口か郵送で申請書を提出
◆**申込締切**
令和5年1月27日(金曜)
※郵送の場合は当日消印有効
◆**申請書配布場所**
各給食センター窓口
※市ホームページからもダウンロードできます
●**申・問**
・小林学校給食センター
TEL 25-1287
・小林東方学校給食センター
TEL 22-2447

講座・催し

文化財巡りバスツアー 西小林地区文化財巡り

市ガイドボランティア協会主催の歴史・文化にふれるバスツアーを開催します。今回は、「西小林地区文化財巡り」です。
◆**日時** 12月21日(水曜)
9時~12時
◆**見学場所**
西小林地区周辺の文化財(芹川池や勧請丘など)
◆**対象** 誰でも参加できます

◆**集合場所** 中央公民館
8時45分までに集合
◆**費用** 100円(保険料含む)
◆**定員** 25人
※申込多数の場合抽選
◆**その他**
動きやすい服装、寒さ対策、水筒などをご準備ください
◆**申込締切** 12月14日(水曜)
●**申・問**・社会教育課
TEL 22-7912

スマートフォンプレゼンテーション講座 第3弾

スマートフォンの使い方を基礎から習えます。
◆**日時** 1月20日(金曜)
10時~12時30分
◆**場所** 野尻庁舎2階大会議室
◆**内容**
スマホで電話をしよう
災害に備えよう
◆**参加費** 無料
◆**定員** 10人
※初めて受講する人を優先
◆**申込締切** 1月6日(金曜)

◆**日時**
かわいいハンドメイド講座
かわいい小物を手作ります。

案内

県民生活エネルギー価格高騰対策・脱炭素化支援事業補助金
県は住宅の太陽光発電設備、蓄電池の導入、高効率給湯器、高断熱性ガラスの更新を行う費用を支援する補助金を創設
●**申・問**・教育部野尻分室
TEL 44-1100

1月19日、2月2日、2月16日、3月2日(隔週木曜)13時30分~15時30分
◆**場所**
野尻町保健福祉センター
◆**内容**
「フラワーボックス」「和柄のブローチ」など
◆**参加費**
500円(材料費別途必要)
◆**定員** 12人
※申込者多数の場合は抽選
◆**申込締切** 1月5日(木曜)

共通事項

◆**対象** 市内在住・在勤の人
◆**申込方法**
窓口か電話で申し込み
●**申・問**・教育部野尻分室
TEL 44-1100

農振除外など申請受付

農業振興地域整備計画の変更申請を受け付けます。
◆**受付期限** 12月28日(水曜)
◆**申請書配布先・申込窓口**
農業振興課/須木庁舎地域整備課/野尻庁舎地域整備課
◆**変更申請の要件**
農用地(青地)を除外するときは「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、具体的・緊急的な事業計画があり、法律に定められた要件を全て満たす場合に限り申請します。
●**申・問**・農業振興課
TEL 23-0300
・須木庁舎地域整備課
TEL 48-3131
・野尻庁舎地域整備課
TEL 44-1100



詳細はこちら

人のうごき(小林市の人口)

人口	42,545人	(-29、-518)
男	19,853人	(-16、-235)
女	22,692人	(-13、-283)
世帯	19,191世帯	(-7、47)

令和4年11月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比)
現住人口: 国勢調査人口(実際に居住している人口)を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。
※令和2年10月1日に公表された「令和2年国勢調査速報値」を反映

火災・救急発生状況

種別	10月	累計	昨年
建物	1	9	-1
林野	0	3	-1
車両	1	2	+1
その他	2	7	-3
救急	180	1783	+237

交通事故発生状況

種別	10月	累計	昨年
人身	16	105	-33
物損	84	736	139
死者	0	4	+4
負傷者	17	113	-46
全国死者	2,078		(昨年同月比 -23)

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種類	月日	場所	時間	備考
休日納付・納税相談窓口	12月18日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	12月15日(木)	市役所本館1階相談室	10:00～14:40	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、感染症予防のため休止になる場合があります。事前に都城年金事務所(Tel 0986-23-2571)に確認ください

その他のイベント

◆二原遺跡公園公開日

12月18日(日)
9:30～11:30

農地移動申請

場所 農業委員会事務局
時間 9:00～17:00
受付開始日 12月7日(水)
受付締切日 12月13日(火)

税・保険料の納付期限

※納期限は12月26日(月曜)です

固定資産税・都市計画税	4期
介護保険料	7期
国民健康保険税	6期
後期高齢者医療保険料	6期

これは何ごみ? 答え

駄びんは『リサイクル』
ラベルは、そのまま剥がさず出せませす。なお、びんのふたは必ず外して出してください。
※「令和3年度改訂ごみ分別虎の巻」の16ページをご参照ください。
●問=生活環境課 Tel 23-8122

一般家庭でできる省エネに関する動画を作成しました

光熱費の節約だけでなく、環境保全にもつながる省エネのヒントが盛りだくさんの動画となっています。

ぜひ下記QRコードをスマートフォンで読み込み、視聴してください。

なお、視聴後はQRコードを読み込み、アンケート回答にご協力ください。

◆配信終了日 12月31日(土曜)



省エネ動画



アンケート

●問=生活環境課 Tel 23-8122

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月日	曜日	種類	会場	時間
12	13 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階相談室	10:00～15:00
	20 火	人権・なやみごと	市役所東館1階相談室	
1	5 木	人権・行政・なやみごと	野尻町保健福祉センター	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談

毎週月曜 20:00～22:00
●問:NPO法人こぼやしハートム

☎27-1850

◆宮崎いのちの電話(年中無休)

日・月・水・金 21:00～(翌朝)4:00
火・木・土 18:00～(翌朝)4:00
●問:NPO法人宮崎いのちの電話

☎0570-783-556

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

- 小林保健所の相談会(場)小林保健所(問)23-3118) : 小林こすもす家族会
- ▼アルコール家族教室(アルコールで悩む本人・家族) : 精神疾患で悩まれている家族の「思い」を共有する集い
 - ☎毎月第2火曜(時)13時30分～15時30分 : 毎月第2水曜
- ▼ひきこもり・こころの健康相談 : 毎月第4火曜(時)13時30分～15時30分
- ▼わかちあいの会(自死遺族のつどい) : 場)市民活動支援センター
 - ☎毎月第4木曜(時)13時～15時 : 問)Tel 080-6423-5858

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122
小林市清掃工場 Tel 24-0959
須木住民生活課 Tel 48-3132
野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	12月	1月
水流迫、東方1・2	1	5
真方1・2・3	2	6
南西2・3、通り町	5	11
南西1の西、南西4本町、新生町	6	11
南西1の東、種子田	7	10
北西1・3、緑町	8	12
北西2、坂元	9	20
西町1・2・3 南島田	12	19
仲町、永田町、後川内	13	24
細野2・3、南真方	14	25
細野1、南真方西	15	26
南真方東 上町・上町西	22	30
上町中、上町東 上町北	23	27
西堤、南堤	27	31
北堤	28	31
野尻地区(第3日曜)	18	15
須木地区(第4日曜)	25	22

今月のこれは何ごみ?



「駄びん」(答えは左のページ)

すこやかカレンダー 健康推進課 Tel 23-0323

●育児・親子健康日程

種類	月日	時間	会場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00～11:30	小林市保健センター
赤ちゃん健康診査	12月15日(木)		
1歳6か月児健康診査	1月5日(木)	※個別に案内していますので詳しくは問合せください	
3歳児健康診査	-		
歯っぴ〜教室(要予約)	12月13日(火)	受付 13:00～13:30	
キッズフロア	1月4日(水)	受付 9:30～11:00	
もぐもぐクッキング(要予約)	12月21日(水)	受付 13:45～14:00 開催 14:00～15:00	

●ここにこ運動教室(13:30～15:30)

問:社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場所	12月
野尻町保健福祉センター	13日(火)、20日(火)、27日(火)

●健康相談

※「まちの保健室」は感染症の状況により中止になる場合あり「健診結果が気になる」「食事のことが知りたい」「どんな運動をすればいいか」など、健康について気になることを気軽に相談ください。

月日	曜日	種類	会場	時間
平日(祝日を除く)		健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	小林市保健センター	8:30～17:15 (要予約)
12	22 木	まちの保健室	まちなか松栄 イートインスペース	13:30～15:30

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月	日	曜日	在宅医	電話番号
12	11	日	ひろた内科クリニック	25-0550
			整形外科フレンドクリニック	22-3132
	18	日	西小林診療所	27-1034
			沖内科小児科医院	22-4043
25	日	宮崎医院	22-2841	
31	土	前田内科医院	22-5802	
1	1	日	すわクリニック	22-6489
			桑原記念病院	22-4138
	2	月	内村病院	23-2575
			和田クリニック	23-5653
	3	火	園田病院	22-2221
			高崎皮膚科医院	22-8521
8	日	榎内視鏡内科医院	22-2819	
		整形外科フレンドクリニック	22-3132	
9	月	柵山医院	22-2503	

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください

やっばい
元気がよか!

「聴覚低下による認知症への影響」
自立支援型介護予防

次に当てはまる場合や家族が気付いた場合は耳鼻科受診の目安です。

- スーパーなど騒がしい場所で会話が聞き取りにくい(聞き取ってもらえない)
- テレビの音が大きと言われる(言った)
- 話しかけられても気づかない(気づいてもらえない)
- 何度も聞き返す(聞き返される)ことがある



加齢とともに耳の聞こえが悪くなくても「まだ大丈夫」「歳だから」とそのままにいませんか。最近の研究で「予防できる認知症の要因の中で、難聴が認知症の最も大きな危険因子である」ということが明らかにってきています。

難聴になると、難聴を指摘されることや自覚することが嫌で、人との関わりが減少する傾向にあります。そういった刺激の低下が認知症の原因の1つと言えます。

認知症の症状が出てきてからでは、補聴器の操作方法や必要性の理解ができず装用できない、しないことも考えられるため、事前の耳鼻科受診・相談が重要です。

最近の補聴器は、簡単に音量や音質の調整ができます。まずは、専門家に相談してみましょう。

難聴のある人と話す際は、声の高さを低くすることや1音1音聞き取れるようにゆっくり話しましょう。周囲の私たちが適切な配慮をすることで、誰もが社会とつながり、長く地域で生活できることを目指しましょう。

【問】長寿介護課 Tel 23-1140

福祉情報をお届けします

社協タイムズ

重層的支援体制整備事業(スコープ事業)で誰ひとり取りこぼさない地域づくりを

社会の変化に伴い複雑・複合化する悩みを解決するために

社会の変化に伴い人びとの生活が変化の中で、さまざまな困難・生きづらさの多様性や複雑性から悩みを抱える人が増えています。

これまでの子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者といった対象者ごとの支援体制だけでは、人びとが持つさまざまなニーズへの対応が困難なため、重層的な支援体制の整備が必要とされています。

小林市でも①属性を問わない相談支援/②参加支援/③地域づくりに向けた支援を柱に、重層的支援体制整備事業の本格実施に向けた取り組みが始まっています。

重なった困りごとの解決は、優

れた専門家でも1人では難しいため、相談窓口や専門職がチームになって解決を考えていきます。

また、悩みを抱えながらも自ら相談できない人が多いため、支援者から困りごとを抱えた人を訪ねる「アウトリーチ」も使い、困っている人の孤立を防ぎます。

「参加支援」は社会参加をつなげていく取り組みで、現在、ひきこもりなどの生きづらさを抱えた人の居場所「まる灯」や「ひきこもり家族会」を支援しています。

ひきこもり支援プラットフォーム
新たな取り組みとして、「小林市ひきこもり支援プラットフォーム」を設置し、関係機関や団体が実態調査やサポーター養成などに

ついて意見交換を行いました。

その中で元当事者は、「心に寄り添った支援が回復への後押しとなる。支援者の自己満足でなく、相談者が満足できる支援が大切」と話していました。

重層的支援体制整備事業は来年度の本格実施に向け協議を重ねています。誰ひとり取りこぼさない地域づくりのため、地域全体で連携できる体制づくりを進めます。



小林市ひきこもり支援プラットフォームで意見交換の様子

※「スコープ事業」は小林市での愛称

【問】市社会福祉協議会(本所): Tel 23-3466

健康のまちづくり

10月27日、健康のまちづくりをテーマとした啓発作品コンクールの表彰式が行われました。同コンクールは、生活の基本となる「健康」の重要性について自ら考え、健康づくりへの積極的な取り組みを啓発するために実施。市内の小中学校から552点の応募があり、健康の大切さと小林市の魅力を力強く表現した作品20点を選出され、代表して最優秀賞の2人が表彰されました。最優秀作品は、「健康のまちづくり」の啓発用ポスターとして市内公共施設などに掲示し活用されます。

小学生の部最優秀賞



野尻小4年
やました きい
山下 希母さん



ポスターを見て、みんなが健康の取り組みを実践してもらえるといいなと思いながら描きました。コスモスを本物に見えるようにするのが難しかったです。

中学生の部最優秀賞



細野中1年
しもむら みわ
下村 未和さん



小林市にあるたくさんの魅力を伝えられるよう描きました。工夫したのは星の描き方で、絵の具をブラシにつけ、とぼしながら描きました。

ポスターで健康のまちづくりを啓発
健康の大切さと小林の魅力を表現

お酒を正しく上手に楽しむ
だれやめ通信

第9回

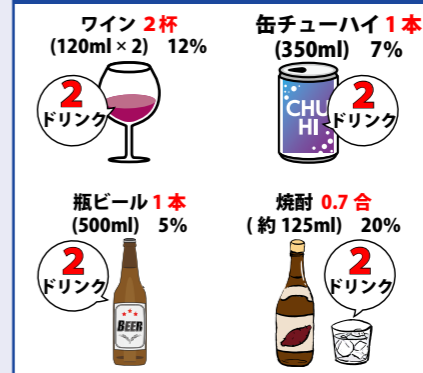
「お酒をめぐる法律の話」

寄稿…(医) 見松会 あきやま病院 福田 貴博 医師
※前勤務先 (独法) 国立病院機構 肥前精神医療センター

今回は、お酒をめぐる法律の話です。実は、日本はお酒に対して甘い国なのです。24時間お酒を販売できたり、居酒屋で飲み放題があったり、公共の場でも飲酒できるなど、国によっては禁止されています。また、酒の席では無礼講など、酔っ払いにも甘い文化といえます。このままではよくないということで、2013年にアルコール健康障害対策基本法という法律ができました。国として、アルコールによる健康障害に取り組む必要性を認めています。特徴として、依存症だけでなく、健康問題としてアルコールの飲みすぎを取り上げています。この法律の効果として、酒類のCMで「ごくごく」「ぐびぐび」などの効果音を酒造会社が自主規制

しています。今後は、この連載で以前紹介した「ドリンク」という単位を酒類に表記することや、酒税を引き上げること、「酒は百薬の長」という考えから「節度ある飲酒は2ドリンクまで」に変えていくなどの対策が望まれます。

1日の適正量(2ドリンク)の目安



【問】④健康都市推進室: Tel 23-0456 ⑤健康推進課: Tel 23-0323



「色付きはじめたコキア」
 撮影場所＝生駒高原
 撮影者 miya_pampan さん

優秀賞
 3点



「灯籠と鳥居」
 撮影場所＝霧島岑神社
 撮影者 大谷 誠治 さん



「水鏡」
 撮影場所＝小林市堤
 撮影者 jiyongsoul さん



「集団登校」
 撮影場所＝小林市細野
 撮影者 谷村 龍生 さん



「さわやか高原」
 撮影場所＝生駒高原
 撮影者 清流 さん
 佳作
 5点



「5分だけの時間」
 撮影場所＝小林市真方
 撮影者 satosan_photo さん

「シャボン玉とぼそ」
 撮影場所＝夷守台県民ふれあいの森
 撮影者 m.Sakoh さん



「願」
 撮影場所＝霧島岑神社
 撮影者 bukko202 さん



ハッシンコバヤシ!! フォトコンテスト

結果発表

7月1日～8月31日の期間で、「ハッシンしたい小林の夏!」をテーマに、「ハッシンコバヤシ!! フォトコンテスト」を開催し、166作品の応募がありました。たくさんの応募ありがとうございました。

今回は、「写真の完成度」、「作品名」、「テーマ(ハッシンしたい小林の夏!）」に合った作品か、「小林のよさが現れているか」の4つの視点で審査を行いました。

広報こばやしで3つのコーナーを受け持つ高校生記者クラブも審査に加わり、高校生視点での写真評価も行われるなど、厳正な審査の結果選ばれた、最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、佳作(5点)を紹介します。

●問＝地方創生課 Tel 23-1148



最優秀賞

「always there」

撮影場所＝市内某所
 撮影者 nassom_ig さん

こすも日記

画：友安よーいち

第100話「祝！100回！」



広報紙へのご意見・ご感想をお気軽に寄せてください



読んだ感想や、こんな情報が知りたい、この人取材してほしいなどのご意見を、QRコードからお寄せください。

心の花びら

初鮭やムニエルのバター香ばしき（小林合歓の会 大坪風花）
 稲架の陰闘志みなぎる子かまきり（小林合歓の会 小村明子）
 星流る我胸中にとびこんだ（小林合歓の会 本田李）
 今生は切れ字で詰り秋刀魚喰う（小林合歓の会 藤林伸岳）
 冬朝明花火の清か気の逸り（小林合歓の会 中園直子）
 小春日や五十年棲む家解体す（小林合歓の会 永田タエ子）
 日本一名乗れる牛よ故郷産（長友正臣）
 草を取る手がふと止まる母子草（東脇哲郎）
 久に行く黄金の道秋深し賑しくひろう銀杏の実なり（前満英子）
 病む妹苦しいのよと話せない受話器を持ちて涙止まらず（永友チエ）
 八十八手しおにかけし稲穂波無情の雨に湖となりゆく（佐枝記子）
 秋の日はつるべ落し農夫には定時ないのか日が暮れるまで（武ナミ子）

SUKU SUKU



鎌田海里くん 令和3年10月17日生
 川良はるひとくん 平成30年7月14日生
 甘えん坊のかいちゃん。すくすく元気に育ってね。
 いつも妹と仲良くしてくれてありがとう。2人の笑い声にいつも癒されています！これからもずっと笑顔で元気でいてね！
 保護者：鎌田智起、真里
 保護者：川良俊平、佳奈

◆必要事項
 ①子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別/②掲載する写真/③保護者の名前/④コメント(50文字以内)
 ◆必要事項
 ①子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別/②掲載する写真/③保護者の名前/④コメント(50文字以内)
 ◆必要事項
 ①子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別/②掲載する写真/③保護者の名前/④コメント(50文字以内)

<編集後記>
 こすも日記が今月で100話を迎えました。平成26年3月号に第1話を掲載しています。市ホームページで昔の広報紙が見られるので見返してみると面白いですよ。(榎田)

小林市立図書館
 問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷は毎週土曜

～一般書～



『葵のしずく』
 著者：奥山 景布子
 発行：文藝春秋

～一般書～



『ストレス脳』
 著者：アンデシュ・ハンセン
 訳者：久山 葉子
 発行：新潮社

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
 ◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
 【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
 ◆開館時間 9時～17時
 【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
 ◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
 毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

クリスマス会

人形劇団「ののはな」による人形劇などを行います。参加した子どもたちにはサンタコースからのおみやげもあります。

野尻分館 12月17日(土曜)

◆時間 17時～18時 ◆定員 30人
 ◆内容 ミニ人形劇、フルート演奏ほか

小林本館 12月18日(日曜)

◆時間 13時30分～14時30分
 ◆定員 60人
 ◆内容 人形劇「あかずきんちゃん」ほか

※必ず事前に図書館カウンターか電話で申込みください。定員になり次第締め切ります
 ※感染症の状況により中止の場合があります



年末年始の休館
 12月29日(木曜)～1月4日(水曜)
 ※期間中に館内整理日による休館を含みます

こはまち 便利

サイクルロゲイニング in 北霧島 2022



小林まちづくり株式会社
 〒886-0008
 小林市本町16
 8時30分～17時30分(土日祝日除く)
 TEL 27-3280
 Fax 27-3257

「JR吉都線」×「サイクリング」

11月6日、北霧島エリア(小林市、えびの市、高原町)を舞台に第2回目となるサイクリングイベント「サイクルロゲイニングin北霧島2022」を開催しました。

サイクルロゲイニングとは、自転車で各地に多数設けられたチェックポイントを制限時間内に自由散策にて周り、ゴールするまでの獲得ポイントを競う野外スポーツです。

2市1町エリア間の移動手段として、JR吉都線を利用し、自転車をそのまま積み込んで移動ができるサイクルトレインには、参加された皆さまも大満足の様子でした！

今回は県内外から69人が参加し、最年少は8歳、最年長は70代と幅広い世代の方に楽しんでいただきました。

参加者からも「こんなに景色の良い場所があるとは！」、「汽車に自転車を乗せることができ最高！」、「ランチが美味しかった！」など、西諸の魅力をたくさん感じて頂いたことを何よりうれしく感じました。

西諸地域での連携イベントとして、これからも磨き上げを行い、次回開催につなげていきたいと思えます。本イベント開催に向けてご協力をいただきましたスタッフの皆さまにも心より感謝申し上げます。



年末詣・初詣
日本神話の郷 **霧島岑神社**

小林市細野 (夷守) 4937 社務所 TEL 0984 - 23 - 0855
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090 - 3735 - 9954

トラクター・重機
トラック・農機具

見積り無料
どこでも
かけつけます!

古くても、壊れてても、不動車でも
どこよりも **高く買い取る** ことを目指しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10%UP 致します。

TEL: **0986-77-9092**
農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
携 帯: 080-3375-9750
FAX: 0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

Avanti

九州555インディアカールコ ●営業時間：朝8時～夜7時

(有) やすかた豊ふすま店

小林店 〒886-0007 小林市真方384-10
TEL (FAX兼用) **0984-22-4566**

都城三股店 〒889-1914 三股町蓼池字前ノ村4178
TEL (FAX兼用) **0986-36-8620**

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います (無料)

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種 (全自動透析装置) を用いた安心・安全な透析

送迎応談・随時見学可

☎ **23-5653 / Fax 22-5142**
〒886-0003 小林市堤 3727 番地 1
<http://wada-clinic.or.jp/>

(有) 宮内葬儀社
MYAUCHI

0120-24-2349

小林市細野 437 番地 4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

SOGO GRAPHICS

- 印刷
- 販促品
- レーザー加工
- オリジナルグッズ製作
- 動画作成
- 3Dプリント
- ワークショップ
- ドローン撮影

宮崎営業所

〒886-0004 宮崎県小林市細野389-1 第1池田ビル
www.sogographics.com info@sogographics.com

TEL **0984-27-3437** FAX **0984-27-3438**

倉菌牧場直営店
beef kurazono

変わらぬおいしさ、更なるおいしさ・・・
ハレの日は ビーフックくらぞので。
※ご予算に応じて8,000円～ご予約賜ります。

TEL 0984-24-1515
E-mail info@beef-kurazono.com

水流黒豚
からいもどし

霧島連山の豊かな風土が育む深い味わい。
六白黒豚「からいもどん」

桑水流畜産 TEL0984-22-8686
定休日 (日曜日)

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。
広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。